

日本動物考古学会 第11回大会 (第2報)

参会者の皆さま

新緑の候、皆さまにおかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、来る7月6・7日の両日、東北芸術工科大学 山形キャンパスを会場に開催させていただき、日本動物考古学会第11回大会のプログラムをお届けします。ご参会の皆さま、研究発表を申し込まれた皆さまにおかれましては、本紙の諸注意をご一読の上、ご準備くださいますようお願い申し上げます。

本大会が、皆さまにとりまして、得難い学びと懇親の機会となりますことを願っております。

2024年4月吉日

日本動物考古学会
会長 佐藤孝雄

研究会

日時：2024年7月6日（土）・7日（日）

会場：東北芸術工科大学 山形キャンパス（山形市上桜田3丁目4-5）

参加費：無料

懇親会

日時：2024年7月6日（土）19:00～21:00

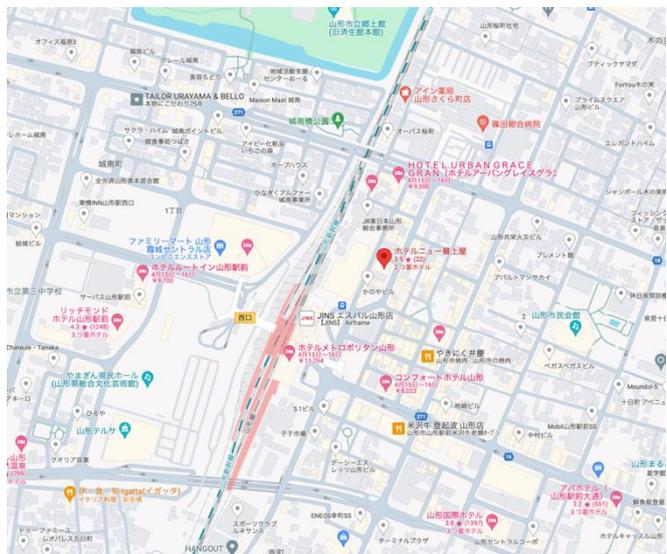
会場：ホテルNEW最上屋（山形県山形市香澄町1丁目15-28 ニューモガミヤ）

TEL.023-632-8000 ※山形駅東口から徒歩1分

会費：5,500円(税込)

※ 懇親会費は当日懇親会場で申し受けます。

※ 18:20 に山形駅前行きの貸切バスが出ます。バスプールに集合ください。懇親会参加者が優先ですが、席に余裕があれば他の方もご乗車いただけます。



発表者の皆さまへ

1. 口頭発表

● 発表データの受け渡しと使用機材

発表者は、ギガファイル便 (<https://gigafile.nu/>) 等のファイル転送サービスを利用の上、7月5日(金)17時までに、本大会事務局 東北芸術工科大学 青野友哉研究室 (aono.tomoya@aga.tuad.ac.jp) まで PowerPoint のデータをお送り下さい。タイトなタイムスケジュールの中で円滑に大会を運営するための方法としてご理解とご協力のほどお願い致します。発表には会場に設置された PC をご使用ください。自前の PC を使用することはお控え下さいますようお願いいたします。

Microsoft PowerPoint 2016 がインストールされた Windows の PC を使用する予定です。Mac で発表データを作成される方は、事前に各自で発表データが Microsoft PowerPoint 2016 で作動するか動作確認を行ってください。

● 発表時間

1件当たり 20分です。内訳は発表時間 15分、質疑応答 5分とお考えください。13分経過(ベル1回)、15分経過(ベル2回)、20分経過(ベル3回)をお知らせします。大会を円滑に運営できるよう、時間の厳守にご協力をお願いいたします。

2. ポスター発表

ポスターボードのサイズは横 90cm、縦 180cm です。会場には掲示用の画鋏等を用意しますので、ご自身の演題番号が記されているボードに掲示をお願いします。ポスター掲示は7月6日(土)12:00 から可能です。発表時間は7月6日(土)の14:30~15:15です。発表者は、この時間にポスター設置場所でご発表下さい。また、7月7日(日)12:30までに各自でポスターを撤収してください。

お問い合わせ先

〒900-0006

沖縄県那覇市おもろまち3-1-1

沖縄県立博物館・美術館 澤浦亮平

TEL: 098-851-5401

E-mail: sawaura@gmail.com

研究発表プログラム

7月6日(土)

開場・受付 12:00～

開会の辞 12:45 (会長：佐藤孝雄)

研究発表 A (座長：松崎哲也)

12:50～13:10 A01 「山形県高島町日向洞穴出土動物遺存体の帰属時期の再検討(予報)」
納屋内高史・澤田純明・米田 穰・渋谷孝雄

13:10～13:30 A02 「大分県川原田洞穴の再検討」
遠部 慎・畑山智史

13:30～13:50 A03 「東北地方における縄文時代の動物形土製品の内部構造の地域差」
鹿又喜隆・鹿野晴尚

13:50～14:10 A04 「縄文時代、サルの土偶はなぜ口を尖らせているのか？」
三戸幸久

14:10～14:30 A05 「歯牙製垂飾からみた加工/素材の関係性」
川添和暁

ポスター発表(発表者・題目は別紙に一覧) 14:30～15:15 ※有珠モシリ遺跡出土資料見学

研究発表 B (座長：荘司一步)

15:20～15:40 B01 「貝殻に刻まれた縄文時代早期の災害史」
畑山智史

15:40～16:00 B02 「東京湾西岸における縄文時代中期から後期の鯨類利用」
浪形早季子・岸田拓士

16:00～16:20 B03 「先史時代の煮炊きと土器残存有機物との関係」
宮田佳樹・村本周三・福井淳一・宮内信雄・堀内晶子・
小澤仁嗣・国木田大

休憩(5分)

研究発表 C (座長：菅原弘樹)

16:25～16:45 C01 「遺跡調査における動物資源利用評価の実践」
福井淳一・澤田純明・宮田佳樹・小畑弘己

16:45～17:05 C02 「有珠モシリ遺跡の動物遺存体同定
—北海道における縄文晩期貝層の分析—(仮)」
三谷智広・青野友哉・中村賢太郎・永谷幸人

17:05～17:25 C03 「北海道アイヌの熊送り儀礼にみる近世以降の様式変化」
佐藤孝雄・加藤博文・大坂 拓・折井美陽

記念撮影

総会 17:30～18:10

貸切バスでの移動 18:20～18:40 懇親会 19:00～21:00

7月7日(日)

開場 8:30～

研究発表 D (座長：菊地大樹)

- 8:50～9:10 D01 「古墳時代の海浜集落にみる動物利用：
—大阪府南部の小島東遺跡における動物遺存体の分析を通じて—」
山田望海・藤田道子・丸山真史
- 9:10～9:30 D02 「炭素・窒素安定同位体分析による遺跡出土貝類の産地推定の試み」
石丸恵利子・大西雄二・由水千景・陀安一郎
- 9:30～9:50 D03 「北海道のサケ、マス類 (*Oncorhynchus* sp.) 遺存体を対象にした
古代 DNA 分析による人と魚の歴史生態学研究」
七座有香・福井淳一・Hua Zhang・Thomas Royle・Dongya Yang
- 9:50～10:10 D04 「古代 DNA から明らかになった縄文時代のオオヤマネコ」
寺井洋平・松本悠貴・増田隆一・佐藤孝雄

休憩 (5分)

研究発表 E (座長：丸山真史)

- 10:15～10:35 E01 「奈良文化財研究所所蔵のリュウキュウイノシシ下顎骨標本
(花井コレクション)」
山崎 健・坂本 匠・松崎哲也
- 10:35～10:55 E02 「現生飼育イノシシの口腔病理に関する調査結果について」
山崎京美・黒沢弥悦・仲谷 淳・清水良央・澤浦亮平・遠藤秀紀
- 10:55～11:15 E03 「韓半島の湖南地域における鉄器時代のブタ」
裴亨坤

休憩 (5分)

研究発表 F (座長：澤田純明)

- 11:20～11:40 F01 「韓国におけるニワトリの普及に関する基礎的研究
—キジ科およびニワトリの出土遺跡の分布と時期的変遷—」
李河暻・丸山真史・江田真毅
- 11:40～12:00 F02 「江戸時代のニワトリの大きさの多様性」
許開軒・丸山真史・江田真毅
- 12:00～12:20 F03 「弥生時代のニワトリの継代飼育を探る
—カラカミ遺跡資料の分析から—」
江田真毅・泉洋江・松見裕二

閉会の辞 12:20 (副会長：本郷一美)

ポスター発表 7月6日(土) 14:30~15:15

- P01 「山形県遊佐町小山崎遺跡出土動物遺存体の空間的分析」
納屋内高史
- P02 「宮城県東松島市里浜貝塚で初確認されたウシサワラについて」
松崎哲也
- P03 「北陸地域における初期貝塚の出現年代」
畑山智史・遠部 慎
- P04 「新潟県のウマ遺存体出土遺跡」
高尾将矢
- P05 「近世下総ウマ集団の特徴」
植月 学・櫻庭陸央・山本満梨奈・宮川博司
- P06 「尾張藩鷹場に所在する旧家から発見されたツルの骨―東京都立川市中野家の事例―」
阿部常樹・高野宏峰・鳥越多工摩・山下祐香里
- P07 「近代・大学校地内より出土した大量の動物骨―東京大学本郷構内の遺跡の事例―」
阿部常樹・高橋怜土・堀内秀樹
- P08 「三浦市間口 A 洞窟の脊椎動物遺体」
宇根宏紀
- P09 「3D 写真計測による骨角器の検討
―縄文時代後期における角座骨付き鹿角の利用について―」
風間智裕・畑山智史・福井淳一・宮田佳樹
- P10 「破碎からみた縄文後期関東地方における動物解体技術」
櫻庭陸央・植月 学
- P11 「愛知県朝日貝殻山貝塚より 1954 年の調査で出土した弥生時代前期の動物遺存体」
廣瀬允人
- P12 「琵琶湖に運ばれてきた海産物―滋賀県塩津港遺跡―」
佐藤巧庸・重田 勉
- P13 「動物頭骨を用いた民族資料―南山大学人類学博物館所蔵西江コレクションより―」
高橋佳子
- P14 「次世代シーケンサー解析によるマルタニシの遺伝子情報からヒトの移住を読む 第一報」
松本建速
- P15 「Origin and Spread of *Bombyx mori* domestication in East Asia」
Dong Hoon Shin・Yangsu Yi・Jong Ha Hong・Ala Go

会場のご案内

会場: 東北芸術工科大学 山形キャンパス

(〒990-9530 山形県山形市上桜田3丁目4番5号)

● 山形駅から大学までの路線バスによるアクセス

JR 山形駅東口バスプール5番乗り場から「東北芸術工科大学前ゆき」約20分

【山形駅前 → 東北芸術工科大学 (土日祝) の時刻表】

山形駅前5番	8:18	9:43	12:03	15:58	16:58
芸術工科大学前	8:36	10:01	12:21	16:16	17:16
	①		②		

【東北芸術工科大学 → 山形駅前 (土日祝) の時刻表】

芸術工科大学前	12:40	16:35	17:35
山形駅前5番	12:58	16:53	17:53
	③		



- ① 2日目(7月7日)の開会に間に合う便
- ② 1日目(7月6日)の開会に間に合う便
- ③ 2日目(7月7日)の閉会直後の便

会場までの公共交通機関は路線バスに限られ、会期中は本数も非常に少ないのでご注意ください。

参加者同士でお誘いあわせの上、タクシーの乗り合わせ等もご検討ください(片道1,800円前後)。タクシー乗り場は山形駅東口にあります。

<参考: 大学近くのタクシー会社> 平成タクシー 023-615-1313

駐車場は本館周辺にありますので、自家用車・レンタカーでお越しの方はご利用ください(無料)。

〈キャンパスマップ〉 A:本館4階(大会会場)

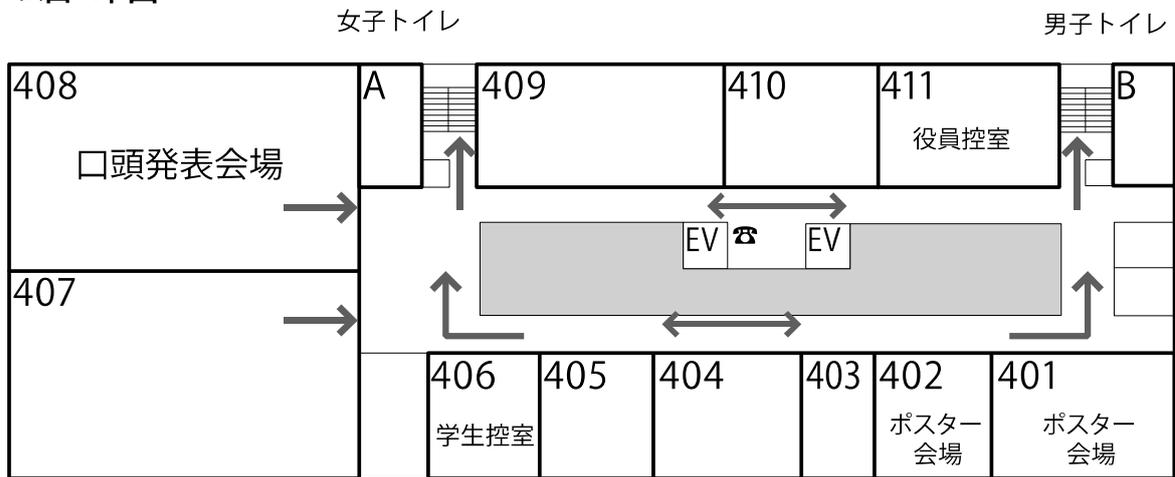
東北芸術工科大学キャンパスと施設

蔵王の雄大な大自然を背景に、山形の市街地に向かって開かれた美しい丘陵地帯。その一角に本学のキャンパスはあります。敷地面積は、約21ヘクタール。ユニークな三角屋根の本館をメインに左右には図書館と学生会館、前面には広大な池に浮かぶ伝統台(伝統館)。そしてそれらを取り囲むように、実習棟や体育館などが配置されています。



【基礎データ】
 校地面積：約211,100㎡ (上桜田エリア)
 設計担当：本間利雄設計事務所

本館4階



- ・昼食は1日目のみ学食が利用可能です
- ・会場内での飲食は可能ですが、飲料の自動販売機があるのみです
- ・宿泊施設については各自で手配をお願いします(繁華街は山形駅東口です)